

## 自己評価表（クラス単位）

年令毎のクラス担任による評価を集計

A、B、C、D の 4 段階評価とする。

A --- よくできた    B --- できた    C --- 一部改善が必要    D --- 改善が必要

	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
生命の保持	1. 生理的欲求を満ち生活のリズムを整えることができたか	1	5			
	2. 安全に十分留意しながら行動範囲を広げることができていたか	1	4	1		
	3. 基本的な生活習慣が身に付くよう子どもや保護者に十分に指導することができていたか		3	3		
	4. 気温や体調の変化に留意し体調管理を行っていたか	3	3			
	改善案等： 1. 安全に配慮した環境を整えてきたが、保育士の安全管理の考え方に差があり、その都度話し合いをした。 2. 日常的に保護者との会話を大切に、信頼関係をしっかり築いたうえで、指導する。 3. 保護者への指導が不十分であった。夫々の子どもの家庭での過ごし方を把握することが難しい。					
情緒の安定	1. 子どもの示す欲求を理解し、応えてあげることができたか	1	5			
	2. スキンシップをとり、安心を感じることでできる機会をとることができていたか	2	4			
	3. 自我の芽生えを理解し、それを受け止めることで情緒の安定をはかることができたか	1	5			
	4. 子どもたち一人ひとりの特性を生かし褒めることで自信が持てるような保育を心掛けていたか	1	5			
	改善案等：					
健康	1. 子どもの発育の個人差に配慮ができていたか	1	5			
	2. 身の回りの簡単なことは「自分でやってみよう」とする意欲を出させることができたか	3	3			
	3. おむつからパンツへの排泄の自立を計画的に進めることができたか	2	1			3, 4, 5 才
	4. 衣服の着脱、後始末などを自分でできるようになるように声掛けや配慮ができたか	3	3			
	5. 基本的な生活に必要な活動（手洗い、うがい、排泄、所持品の始末等）を自発的にさせるような声掛けをしたか	1	3	1		0 才
	6. 様々な動きを通して体を動かすことへの充実感や達成感を味わうことができるように配慮したか	3	3			

	改善案等： 1. 個々の指示を出すのではなく、保育士が手本になったり、自発的に行動できている子を誉めたりする。						
	内 容	評 価					
		A	B	C	D	適用外 クラス	
健 康	1. 子どもの健康を意識して予防に努めたか	2	4				
	2. 感染症について理解し、保護者に伝えることができたか	1	5				
	3. 怪我に対しての予防や処置を十分に行うことができたか	2	4				
	改善案等： 1. 環境を整えてきたが、保育士の考え方に差があり、その都度話し合いをした。 2. 室内の仕切り柵が、子どもの成長で体重をかけると動くようになり、足を挟むことがあった。数か月毎に室内の安全チェックを実施。						
人 間 関 係	1. 子どもとの信頼関係を築き、安心できる空間をつくることができたか	3	3				
	2. 保育士や友達に興味を持ち自ら関わろうとするよう配慮できたか	2	4				
	3. 人とのつながりを大切にし、友達との信頼関係を深め仲良く遊べるような声掛けや配慮ができたか		3	2		0才	
	4. 集団での遊びを通してルールを守ることや相手を思いやる気持ちをもてるよう指導できたか		3	2		0才	
	5. 友達の意見に耳を傾け思いやりを持たせることができたか		1	2		0,1,2才	
	改善案等： 1. 友達の意見を聴くことはできるが、思いやりまではいかない。クラスで集まって話をする時に、「今日の嬉しかった事」を発表させ、嬉しさや喜びの感情を共有する経験を重ねる。 2. ルールがある遊びを繰り返し、遊ぶ中でルールを理解し、ルールがあるから楽しいと思う経験を重ねる。						
環 境	1. 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮できたか	1	5				
	2. 遊具や玩具を工夫し子どもが興味を持って積極的に関わることができるようにしたか	1	5				
	3. 季節の歌や自然に触れながら四季を感じられるようにする		6				
	4. 季節の移り変わりを楽しみ、その違いや変化に気づくような声掛けができたか		5			0才	
	改善案等：						
言 葉	1. 語り掛けを多くし、子どもたちとの言葉を使った応答的関わりを十分に行ったか		5	1		0才	
	2. 発達段階に応じた絵本や歌・言葉遊びを通して語数を増やし、話すことを楽しめるような関わりができたか	2	3	1			
	3. 発達段階に応じて自分の気持ちを言葉で伝えることができるよう、傾聴的態度で子どもの話を聞くことができたか		6				
	4. 友達や保育者の話を聞くことができるように指導することができたか	1	3	1		1才	

	改善案等： 1. 日常保育の中での声の掛け方を見直し、提案や相談などのやりとりを増やし、指示語をできるだけ減らす。 2. 知らない言葉が多く、物語性のある絵本への興味が薄かった。 3. 会話をする場合、自分の意見を話すタイミングと人の話を聴くタイミングを知る。					
	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
表  現	1. 日々の活動や戸外遊びを工夫し豊かな感性が育まれるようにすることができたか	1	5			
	2. リズム遊びを通して音楽表現を楽しむことができるように配慮したか	2	2	1		2才
	3. 喜びや楽しさ、悔しさ等の気持ちを全身を使って表現できる機会を設け共感することができたか	2	4			
	4. 楽器の演奏や踊りを通してリズム感が養われるようにしたか	1	2	1		0,2才
	5. 描きたいもの、見たものを自由に描くことができるような声掛けや指導ができたか		5			0才
	改善案等：					
食  育	1. いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにしたか	1	5			
	2. 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができたか	1	4			0才
	3. 食事のマナーを知り、守って楽しく食事をするような環境ができていたか	1	3	1		0才
	4. 栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫ができたか	2	1			0,1,2才
	5. 野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感を得ることができるようにしたか		3			0,1,2才
	改善案等 1. マナーを意識できるよう、各グループに手本になる子を作る。 また、楽しく食事ができるように、テーブルの配置を工夫する。					